

公共事業再評価調書（再々評価）

所管課：道路街路課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：一般国道507号八重瀬道路道路改築事業		前再評価年度：平成29年度		
	事業種別：一般国道改築事業	事業主体：沖縄県		(H20～R6)	
	事業箇所：八重瀬町東風平～具志頭	根拠法令：道路法		事業期間：H20～R14	
	総事業費(百万円)：16,188	費用内訳：補助 9/10	事業量：L=4.19km W=30.0m, 26.5m		
当該事業は八重瀬町東風平から具志頭間の延長約4.2kmについて、4車線拡幅整備を行う道路改築事業である。現道は、幅員狭小で朝夕に渋滞が発生し、通勤通学や産業経済活動に大きな支障をきたしている。当該事業区間を4車線拡幅整備することで、渋滞の緩和、地域の安全・安心の向上を図るとともに、国道507号津嘉山バイパス、国道331号と連係して、南部地域における南北の脆弱な幹線道路ネットワークを強化し、地場産業や観光産業等の活性化を支援するものである。					
1-2 前再評価以降の計画変更	事業期間の変更を行った。				
2 再評価該当項目	■ ① 再評価後一定期間（5年）を経過 □ ② 事業の中止 □ ③ その他（ ）				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	■ ① 用地取得の困難 □ ② 調査・設計の困難 □ ③ 事業の拡大 ■ ④ 予算の確保 □ ⑤ 手続き・法令の問題 □ ⑥ 他事業との関係 □ ⑦ 整備効果の問題 □ ⑧ 当初計画が長期間 □ ⑨ その他（ ） ・単価不満等のため、用地の取得に時間を要している。 ・近年ハード交付金の予算状況が逼迫しており、事業進捗に遅れが生じている。				
4 事業の進捗状況 (R4.3月時点)	項目	事業費(百万円)	整備済み(km)	用地取得(千㎡)	
	計画	16,188	4.19	73.8	
	実施済	8,493	0.20	47.4	
	率	52%	5%	64%	
4-2 前再評価以降の主な進捗	令和2年度にヘンサ橋の橋梁工事を完成させ、今年度に東風平交差点周辺の供用を予定している。				
5 事業効果の評価指標 (検討年50年) (基準年R4) (単位：百万円)	① 走行時間短縮	57,586	① 事業費	14,943	
	② 走行経費低減	3,950	② 維持管理費	550	
	③ 交通事故減少	350			
	総便益	61,886	総費用	15,493	
	基準年換算(B)	18,746	基準年換算(C)	16,856	
	費用便益比 (B/C) = 18,746 / 16,856 = 1.1				
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済： ・「伊覇地区土地区画整理事業」や「屋宜原地区土地区画整理事業」、「富盛田園地区土地区画整理事業」等により本事業区間周辺の市街化が進み周辺人口が増加している状況である。 ・具志頭地域にプロスポーツの練習拠点にもなるスポーツ観光交流施設が令和4年8月にオープンした。 ② 地元・自治体： ・平成30年度に八重瀬町から内閣総理大臣、国土交通大臣、財務大臣、内閣官房長官、沖縄及び北方対策大臣、内閣府沖縄総合事務局長、沖縄県知事あてに要請決議書が発出されている。 ・毎年、南部市町村行政懇談会にて本路線の早期整備が要望されている。 ③ 利害関係者： なし				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 本事業は、「2環状7放射道路」の一部として位置付けられる当該区間を整備することで、4車線道路である国道507号津嘉山バイパス等とあわせて、南部地域における幹線道路ネットワークを強化するものである。また、「重要物流道路(代替路・補完路)」や「第2次緊急輸送道路」に指定され、物流や緊急車両の輸送路として重要な路線であり、早期整備が必要である。 その他にも当該区間周辺には東風平中学校や南部工業高校等の教育施設も多く立地することから、安全・安心で快適な歩道空間の確保が求められる。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト縮減)： 事業効果の早期発現を図るため、施工計画及び用地取得計画を立て、効率的な事業執行に努める。 ③ 事業効果の発現状況： 整備済区間が未供用であり、十分な効果は発現していないが、事業効果の高いと思われる東風平交差点周辺について重点的に整備を行っており、今年度部分供用予定である。				
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等： 事業効果の発現等を考慮した優先区間を指定し、用地取得を重点的に行う。 ② 対住民関係： なし ③ 執行体制等： 現在の体制で取り組む。				
9 対応方針	■ ① 事業継続(現計画) □ ② 事業継続(見直し) □ ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・整備後は4車線になり車両速度が上がるのが予想されるため、交差点などで交通事故が減少する計画を行っていただきたい。 ・多大な用地補償費がかかる箇所については、代替案を検討していただきコスト縮減に努めてほしい。				